

本家が機械の運轉を休止すれば夫れだけ損失を招く爲めに我輩等に夜間勞働を課するのである。労働者の健康とか風紀とかいふ問題には全く無關心で資本主の眼中只だ自己の利益あるのみである。尤も或種の工業においては(例へば電燈、瓦斯)の如き新聞印刷の如き夜業は之を避ける事が出来ぬものであるが而しての結果に於て労働者の健康を害し風紀を紊乱延いてはその家庭生活を破壊する事は同一である。一家の主人にして昼夜を分らず働かせらるゝさせば彼はどうして一家を整理し又兎も家庭を統御して行く事が出来やう。我輩等自身が家庭の樂みを探る事の出來の事は勿論之れは延いてその家庭全體が家庭生活の愉快を失ふ事となり一家は自ら荒野の如くに無味乾燥となり又は廢の如く紛糾するに至るであらう。そして遂には家庭を瓦解しなければならなくなる場合が少ない。既に斯の如くにして社會の大半を占むる我輩等無産者がその家庭生活の樂みを失ひ、剥へ健康を損ね、勇氣を欠き遂に病床に臥するの已むなきに至るが如き事ありさせば夫れこそ由々しき大事と言はなければならぬ。常に人生の明るい道をのみ歩いてゐる人々は我等多數の勞働者が如何に悲惨な生活を送りつゝあるかに就て知らないだらうが我々は毎朝早く起たまし工場の汽笛に促されて家を出で工場に至り長時間無趣味な労働に従つた後、夜遅く人の往来も杜絶ゑた頃に疲れた體調を家路指して歸つて行く我等仲間を見出してそぞろに人生の暗黒面の如何に冷酷なものなるかを思はざるを得ないのである。而も此の主人の不仕勝な爲めにその女房と小兒との上に及